

vi ses

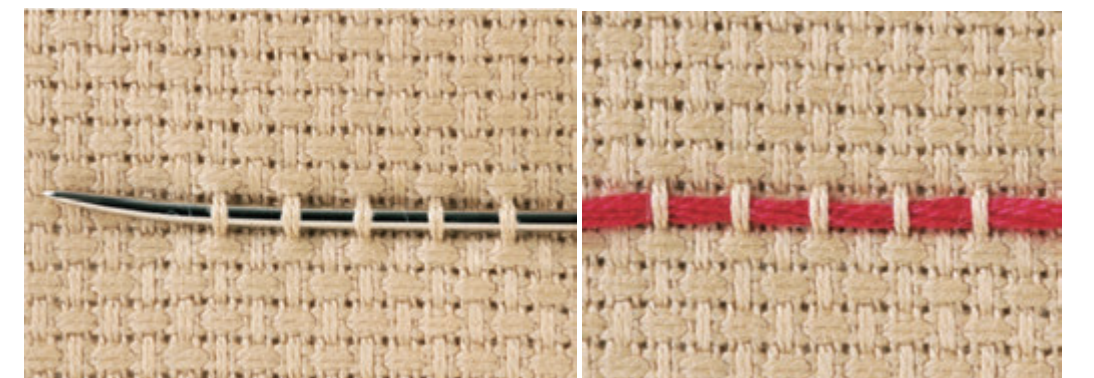


コンセプト -Begrepp-

スウェーデン刺繍というコミュニケーションツールを用いて、世代や価値観が異なるさまざまな人々が交流ができるきっかけを作り、地域の交流ができるようなスウェーデン刺繍のアトリエ兼喫茶店を計画する。

スウェーデン刺繍とは -Svenskt Broderi-

スウェーデン刺繍とは、1956年に東欧バルカン半島のユーゴスラビアの織物や民芸品をもとに日本で考案された技法。
布の表から浮いた織目をすくって糸を通すだけという手軽さと、比較的短時間で完成できるという点がスウェーデン刺繍の大きな魅力。
どんな年齢でも、どんなに不器用でも、誰でも美しい作品を作ることができるのがスウェーデン刺繍。
しかし、知名度があまりなくスウェーデン刺繍のアトリエなども存在しないため、ほとんどの人は知らない技法になってしまっている。

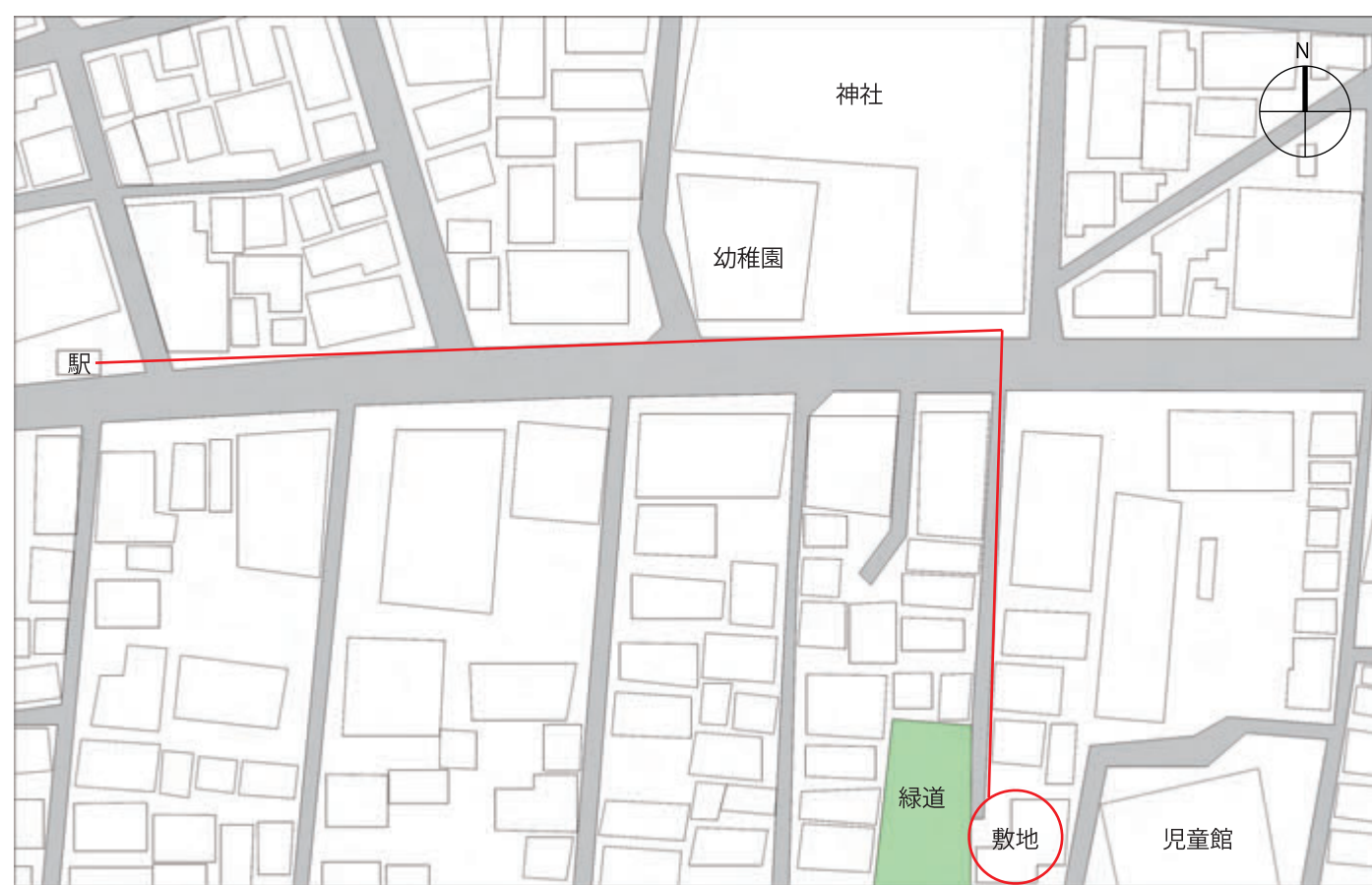


計画敷地 -Webbplats-

住 所：東京都世田谷区新町2丁目
面 積：346㎡
アクセス：東急田園都市線桜新町駅徒歩10分

【周辺環境】
敷地の西側には緑道があり、自然を感じやすい立地。
東側には児童館があり、周辺には幼稚園もあることから、子供連れの家族も利用しやすいのではないかと。

【エリアの特徴】
敷地のあるエリアである桜新町は、流動人口が50,395人と、多くの人々が居住している街である。
居住している世帯も、単身者からファミリー層、高齢者と幅広いのが特徴的



エリアの課題 -Uppgift-

計画敷地のある桜新町エリアには、地域交流の少なさという課題がある。
特に、高齢者や小さな子供連れが気軽に行け憩えるような場所が少なく、価格帯が安い店が狭く落ち着けないチェーン店がうなぎ屋や蕎麦屋などの比較的スペースはあるが、価格帯が高く数居も高い個人店の二択というのが現状である。



計画内容 -Innehåll-

以上のエリアの課題解決と、スウェーデン刺繍の知名度向上のためのアトリエ兼喫茶店を計画する。
桜新町の課題である地域交流をスウェーデン刺繍をコミュニケーションツールとして用いることで、桜新町に住む世代や価値観が異なるさまざまな人々が交流ができるきっかけとなり地域に貢献する。
そして、スウェーデン刺繍のアトリエを多世代に触れてもらえるような立地で開き、より多くの人に知ってもらおう。
なおかつ、アトリエだけでなく喫茶店を併設することで人が立ち寄りやすくし、カフェの中のインテリアとしてスウェーデン刺繍の作品を取り入れることでより魅力を伝える。

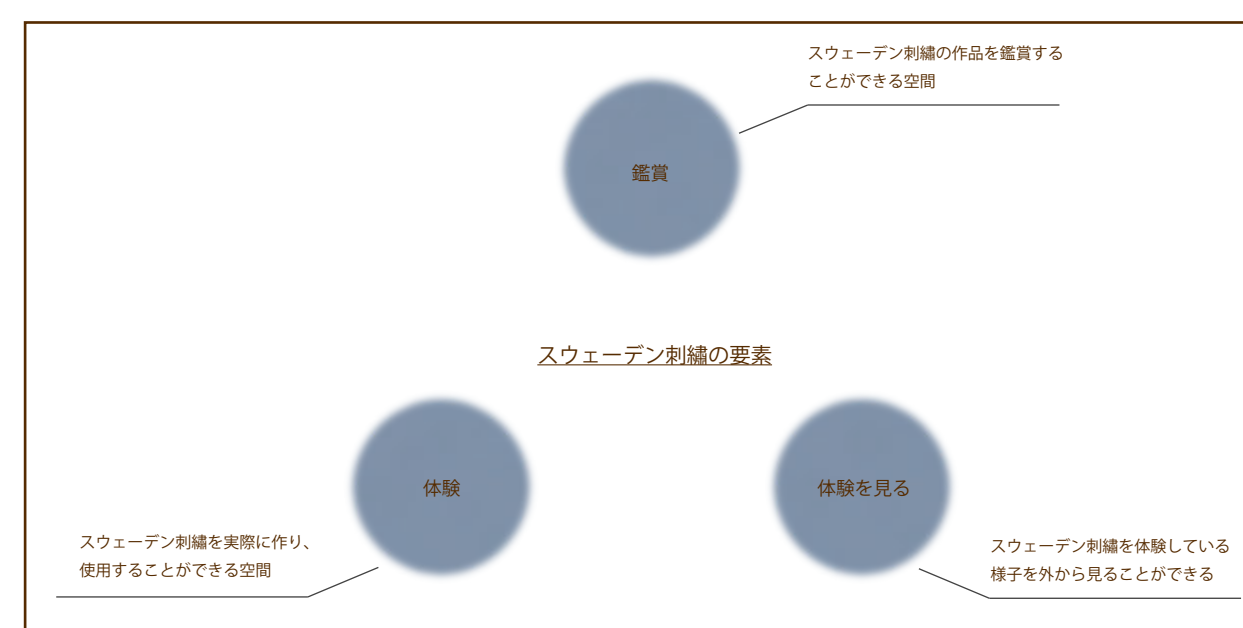
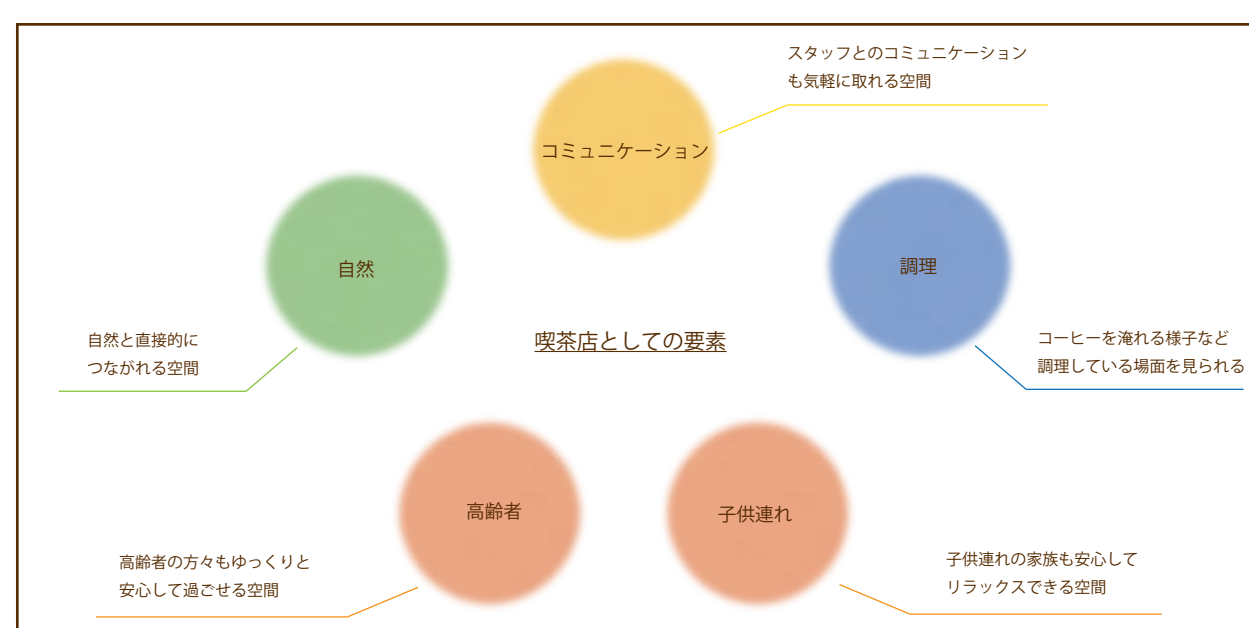
名前の由来 -Ursprung-

「vi ses」とは、スウェーデン語で「またね」という意味のラフな挨拶の言葉。
その言葉のように、気軽に立ち寄り、お店にいる人々が「またね」と言い合えるような繋がりが生まれるように名付けた。

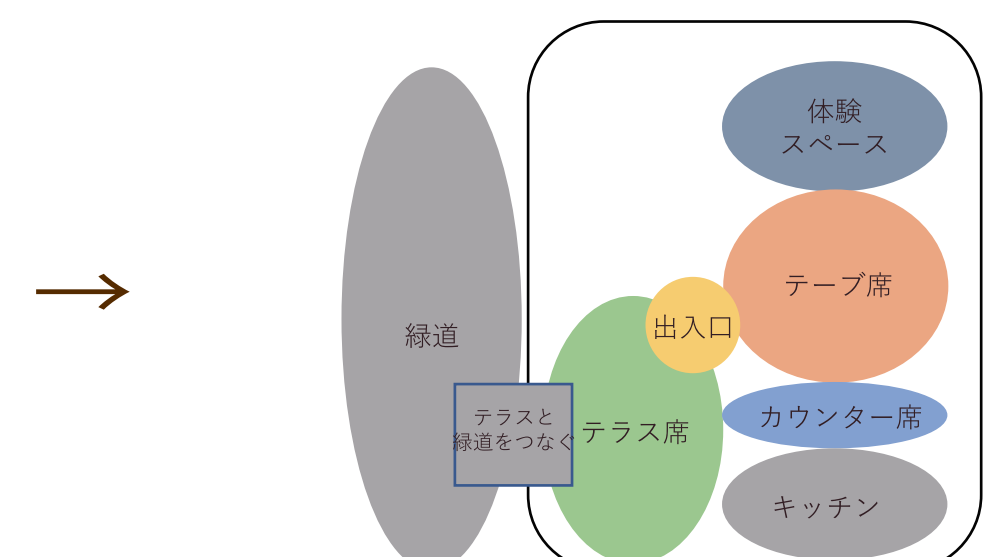


以上のような繋がりを線が重なり合っていることを、スウェーデン刺繍の最もポピュラーな模様と組み合わせた喫茶店のロゴを制作
カラーはスウェーデンの国旗からインスピレーションを得た。

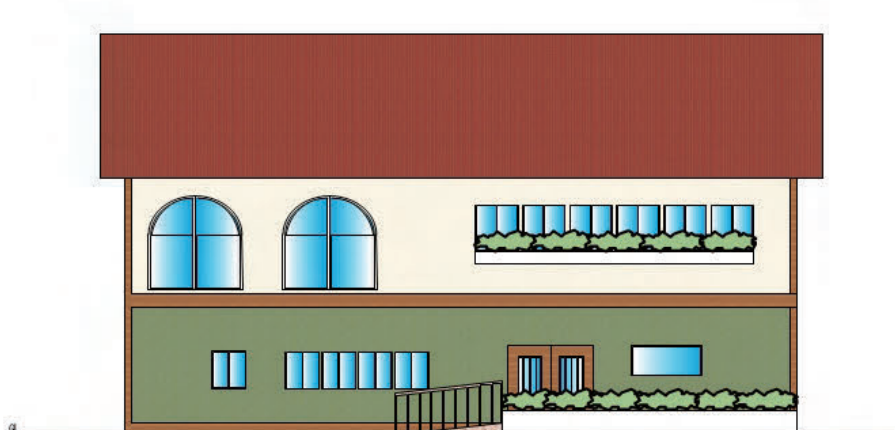
ダイアグラム -Diagram-



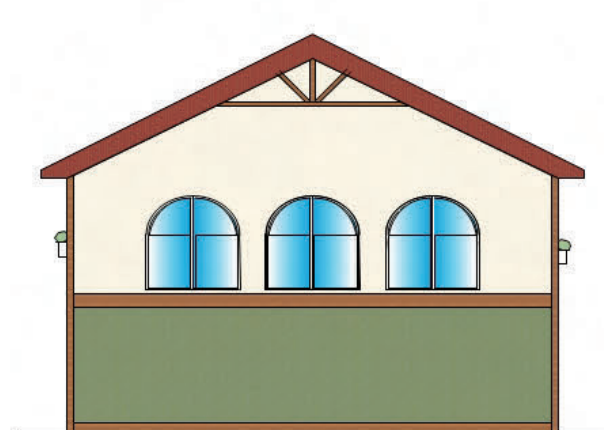
懐かしい要素を取り入れたレトロな北欧喫茶店



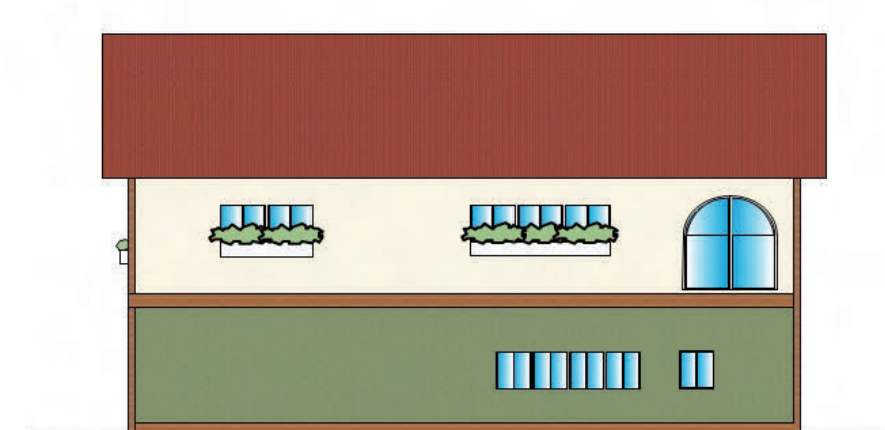
立面図 -Elevation-



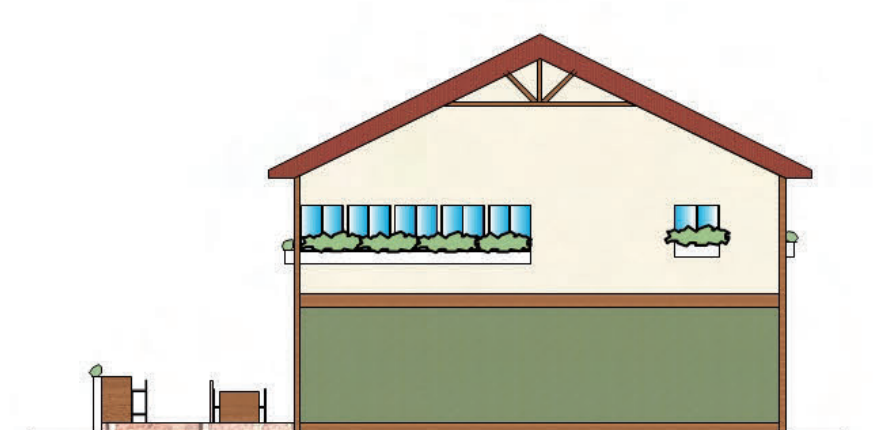
西側立面図



北側立面図



東側立面図



南側立面図